

保育における身体表現の とらえ方について

—日本保育学会での研究発表を中心に—

本山益子¹・鈴木裕子²
西 洋子³・吉川京子⁴

1 岡崎女子短期大学 2 名古屋柳城短期大学
3 東洋英和女学院大学 4 金沢大学

研究目的

平成元年度に改訂された「幼稚園教育要領」では、保育内容の再編成が行われ、新しく「健康」「環境」「人間関係」「言葉」「表現」という5領域が設定された。

この元年度における改訂によって、身体表現活動のかかわる領域(表現)は、「幼児の具体的な活動領域を示されたもの(音楽リズム)から、幼児の主體的な行為そのものを領域決定の根拠とするようになった(栗原1997)。また、「これにより、身体表現教育には、従来の音楽に付随するものとしての取り扱いを払拭し、身体表現本来の特性を生かした教育が求められることとなった(園山1997)。そして、この改訂後10年間に、保育学会での「身体表現」に関する研究発表も増加していることが報告されている(栗原1999)。

しかし、そのような発表の場や、保育の現場において「身体表現」という言葉が使用されるとき、その意味する内容は多岐にわたり、筆者らは、議論がかみ合わない現状を感じるようになった。

そこで本研究では、子どもの表現は多様ではあるが、保育内容の「表現」として行うべき身体表現活動はどのようなものであるかについて検討するための基礎資料を得ることを目的に、日本保育学会において、最近5年間に発表された「身体表現」に関する研究の中で、「身体表現」がどのようにとらえられているかについて分析することを試みた。

研究方法

①分析対象

1996年度から、2000年度までの5年間の日本保育学会研究論文集における「身体表現」に関する研究(口頭発表・ビデオ発表・ポスター発表)を分析の対象とする。

なお、取り上げる研究は、その研究テーマに「身体表現」の語句が使用されているもの。および、口頭発表の中で「保育内容」の分科会において発表されたものとする。

②分析方法

分析の対象とした研究論文から、「身体表現」の語句が含まれる一文を抽出し、身体表現のとらえ方・特徴・活動内容・意義・身体表現が見られる場面などの観点で分析する。

結果と考察

まず、身体表現が見られる場面として、「伝承遊び・手遊び・歌遊び・劇遊び・ごっこ遊び」などの遊びの中。「運動会・誕生日・お楽しみ会」といった行事。「音楽・ダンス」などの活動。そして、「自然な場面・生活のいろいろな場面・コミュニケーション場面」と保育のあらゆる場面が挙げられている。

そして、そこで取り上げられた「身体表現」は、その特徴が「豊かな・身近な・個性的な・定型的な・自発的な・創造的な・自由な・素朴な・非日常的な」などの言葉で形容されており、さらに、「自己表現」「あらわれる」(大場1996)身体の相「もっとも素朴で容易な伝達方法」「動きとイメージの相互作用」「一人ひとりの快感の発露」「個性の発現」「“からだ”を視座に据えた時に見えてくる様々な価値に、ひとりひとりの子どもが直接的に接近する可能性を持つ活動」としてとらえられている。具体的には、「まねる活動」「何かをイメージして動く」「生活経験に基づく感情や印象を自由に表現する活動」「既成のダンスや体操」「音楽や歌にあわせた動き」などの多様な活動が記載されている。

さらに、それぞれの観点から、それらの「身体表現」の意義を、「物をよく観察する態度を養い『感性』を育てていく」「自己の身体を認識し、自己と他者を認識する」「積極的な運動意欲へと結びつく」「身体を通して感覚的にとらえる力を育てる」「言語的表現及び情緒的促進効果が見られる」などと位置付けている。

また、これらの「身体表現」の「教育」「活動」「指導」「援助」「発達」「段階」「作品」「教材」「発表」などの様々な要素が研究の対象となっており、「幼児教育における身体表現の指導方法を確立することは不可欠である」「幼児の身体表現教育に関する方向性や在り方が充分議論されていないため、活動は今ひとつ活性化されていない」「情緒や想像力の発達と身体表現についてはあまり解明されていない」「創造的な身体表現の場が提供されず、経験する機会すら奪われているのが実情であり、その成果について検討されているとは言い難い」といった問題点や課題も指摘されている。

つまり、これらの結果から、保育の場において「身体表現」は、それぞれの立場から、それぞれの観点でとらえられ、研究されているのが現状であると見えよう。そして、大きく①「動きの表現」に重点をおいたとらえ方②音楽的な活動に「付随したもの」としてのとらえ方③「あらわれる」ものとしてのとらえ方に分類することができると思われる。そして、これらのとらえ方の違いを明確にした上で、保育内容における「身体表現」のあり方を検討していくことが求められよう。